

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 5月 27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2772402703		
法人名	有限会社 ウィズ・ケアサポート		
事業所名	グループホーム そおれ		
サービス種類	地域密着型認知症共同生活介護		
所在地	枚方市長尾元町六丁目26番1号		
自己評価作成日	平成22年 5月1日	評価結果市町村受理日	平成 年 月 日

【事業所基本情報】

① 介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	
② 情報提供票を活用する場合	

① 基本情報リンクURLを記入 ② 別紙情報提供票のとおり

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
所在地	大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
訪問調査日	平成 22年 5月 25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

- 私たちは、常に入居者様とできることを考え、生き生きと生活できるよう努める。
- 個々のスキルアップを兼ねた勉強会に参加し、向上心を高めている。
- コミュニケーション技術の向上を目指し、信頼関係を築けるよう努力している。
- 季節のイベントや行事などを企画し、生活上の楽しみを増やすよう努力している。
- 理念に基づくケアの実践ができるよう、チームワークを大事にしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホームに於ける介護の基本となる、利用者の利用前の生活から現在に至るまでの必要な記録類が、計画作成者によって企画、分類、ファイルされ、特に、一人ひとりの日常生活の記録は、職員の細やかな配慮によって記入され、それが介護計画の基本となって活かしている。
又、職員の日々の介護で気が付いたり、改善したいことの提案が「ヒアリハット」の様式で各職員から月に数件以上が提出され、管理者はこの提案の集計結果を申し送り等の、日々の具体的なケアの留意点としている。そして、それを基にしてスタッフ同士が今後の業務に、どのように展開すれば良いのかを考え、実行する大切な指針としている

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ケアの理念周知徹底するために、事業所内に掲示するとともに、勉強会あるいは、全体ミーティングで、再確認を常に行っている	理念の実践に向けて、毎月15日、朝9時から職員会議を開き、職員の指導と相互の話し合いを実施している	
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している	自治会が機能していないのもあり、自治会へは加入はしていない。日常の散歩や近所のお店の利用で、ごく普通に交流をしている。	新しい住宅地として、計画的な開発がされた地域ではないので、自然と人間関係ができるのを待たざるを得ない	
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	問い合わせや、見学者等にも出来る限り詳しく、説明させていただき、その方に応じたアドバイス等をお話しています。		
4	3	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を、2ヶ月に、一度開催している。	原則的に2ヶ月ごとの開催となっている。出席の委員さん方と、相互に情報交流ができ、役立たせている	
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市には、書類提出等足を運ぶようにしている	管理者が、市役所の担当の部署へ、毎月のように訪問して交流を図っている	
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる	当ホームはマンション2階で門扉がないことから、階段からの転落防止や、防犯上のため玄関は常時施錠している。家族様や市からの理解もいただいている。「身体拘束の防止」については、マニュアルあるいは「倫理要綱」で定めているが、今後さらに、ケアの充実に取り組みたい	玄関ドアの施錠は、地理的にも已むを得ないと考えられる	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○ 虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「法令遵守マニュアル」等で虐待通報義務等には、明示を行っている。事業所内にも、資料等を掲示している。		
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人を利用されている方は2名おられる。法人代表者は、それらの知識や導入、活用等熟知しているので、今後必要に応じて研修を行いたい。		
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	そのように行っている。		
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「運営推進会議」や「行事への参加」「ケアプラン（担当者会議）等への参加を積極的に呼びかけ、そのような機会にしている	市役所の計画や、他の事業所での参考事例等の紹介を頂いて、役立たせている	
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、すれらを反映させている	定期的な面接、あるいは話し合い等の場を設けている	毎月の定例会議以外にも、日常的に運営者、管理者と職員が話し合い、必要な対処が出来る	
12		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている	「人事考課」等の実施等にて把握している		
13		○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人主体の研修会を定期的に開催している。また、「資格取得支援制度」「外部研修参加支援制度」等の導入を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	包括支援センター主催のグループホーム連絡会に定期出席している。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○ 初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	入居当初は、スタッフの寄り添いを強化するよう指導している。		
16		<p>○ 初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	本人のみならず、家族からの情報提供を得れるよう、話を聞き、又それらを今後のケアに活かせるよう、記録している。		
17		<p>○ 初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	本人、家族、関係機関等からも情報を得れるようにしている。		
18		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	本人のできる能力に着目するよう努め、アセスメント等で、その見極め等を行い、介護計画書に反映するよう努めている。		
19		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	家族との交流が、行えるよう、行事や会議あるいは、誕生会等の声かけを積極的に行っている。1か月の状況を報告書として、請求書に同封し、お知らせしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様に確認を取った上で、以前住まれていた、ご近所のお仲間達が会いに来られる、入居者様がおられる。	地理的に、近くの方のご家族がお見えになっている	
21		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	自然に助け合いができれば良いが、入居者様間のトラブルは、「ひやりハット報告書」でも多数報告されている。		
22		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院後の経過報告等情報を得ながら、最期まで関わりを持つことが多い。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○ 思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメント等を活用し、そのような支援ができていないか、定期的に確認している。	利用者、一人ひとりの記録が作成され、それが基本となっている	
24		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	知りえた情報は、共有するようしたり、アセスメントを活用している。が、十分でないと感じている。		
25		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている	アセスメントの活用や1か月に一度の振り返りで、努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○ チームでつくる介護計画とモニタリング	定期的に、サービス担当者会議（ケアプラン会議）を開催し、家族、スタッフとともに意見交換を行なっている。それらの情報を元に「ケアプラン」を作成している	介護の基本となるので必要な人材養成を進めているが、休養中の、もと職員の復帰を待っている	
		本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している			
27		○ 個別の記録と実戦への反映	1ヶ月に1度ケアプランの振り返りを踏まえて「個人記録」の見直しを行なっている。それらを「統括表」としてまとめ、ケアプランの見直しの根拠としている。		
		日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている			
28		○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	介護タクシーの利用等（同法人）で、個別の希望に応じた外出企画等を立案、実施した。家族との触れ合いにとっても喜ばれていた。		
		本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる			
29		○ 地域資源との協働	地域の中での自立支援まで支援できていない。本人様の力を活かしたケアをしていかなければならないが、重度化もしており、難しい。		
		一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している			
30	11	○ かかりつけ医の受診診断	全員がホームの指定医療機関を主治医としている。但し、他院受診も可能であり、そのような事例もある。	内科医師は週1回往診 歯科医師は月1回往診 他の医師への受診には適宜に支援している	
		受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			
31		○ 看護職員との協働	医師、看護師の週1回の定期訪問を受けている。医師らは、私たちの質問や入居者様の不安等に親身になって答えてくださり、とても安心している。		
		介護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
32		<p>○ 入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	特別の関係作りは行っていないが、実際は、そのように支援している。			
33	12	<p>○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	「急変時の事前同意書」等を頂いている。これらを基に、今後もし話し合いをしていきたい。	最近の事例を考察した結果、利用者の急変時の救急体制については、再度、主治医とご家族との話し合いを行ない、終末期の方針を、職員一同で情報を共有する重要性を学んでいる		
34		<p>○ 急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	医療的ケア技術の向上は、事業所の課題であり、今年度の研修内容に取り込んでいる。上級救命講習の修了者は、いるが、定期的に継続が必要なので、再受講を促していきたい。			
35	13	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている</p>	「非常災害時のマニュアル」等は完成したが、訓練は「消防訓練」しか実施できていない。今年度は、地震時の対応を話し合っていこうと思っている。	緊急避難の訓練を検討中となっている。設備は電化されている		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	<p>○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている</p>	人権に関する研修や接遇に関する研修を行ったり、努力はしている。	言葉掛けについて、職員研修を繰返し実施している		
37		<p>○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	できることは、入居者様と取り組むように心がけている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	そのように支援しているが、重度化やスタッフの人員配置上の課題もあり、さらに、努力を有すると感じている。		
		○ 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るように支援している	外出時の衣装等には、特に配慮している。		
40	15	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	そのように支援している	皆と一緒に食べる喜びが感じられるように、季節の食材選びから行い、時には一緒に買物に出かけている	
		○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	特に、栄養計算は行っていないが、支障はないと思われる。水分の摂取量は把握し、気をつけている		
42		○ 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている	3食後の口腔ケアは、ほぼ確実に支援し、行って頂いている。		
		○ 排泄の自立支援 排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている	昼間は、オムツを使用しない方向で、ケアに当たっている。トイレの誘導間隔も、個人ごとに把握し、行っている。	夜間帯での排泄支援は特に安全に配慮し、個別にケアをしている	
44		○ 便秘の予防と対応 便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分と運動を励行しているが、下剤を服用されている方もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は、あらかじめ決まっているが、現状、特に問題はないと感じている。	入浴を嫌がる方が多いので、種々の言葉掛けを職員が工夫している	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間等は、特に定めず過ごしてもらっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている	「服薬マニュアル」を定め、そのように支援している。服薬内容は、ファイルですぐ確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事ができる方には、掃除、洗濯干し、調理などのお手伝いをお願いし、生活して頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩、外食、買物等の支援を行っている。個別的な外出支援は、ご希望等をお伺いし、企画実施している。	散歩や外食する際には体力作りや、気分転換に少しでも支援出来るようにしている。遠出の行事も季節に合わせて行なって、職員との楽しいひと時を過ごしている	
50		○お金の所持や、使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している	お金は、所持していない。使用時は、ホームの建て替えで対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○ 電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している</p>	電話は、希望時はスタッフが仲介し、かけることは可能である。手紙等は、居室に掲示するなどの工夫をしている。		
52	19	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている</p>	音の配慮は、日中全入居者様が集まるリビングは常時演歌や、童謡等のBGMがさりげなく流れている。光の配慮は、特に夏場の西日は簾で対応している。生活感、季節感は、季節ごとに壁面飾りを変えたり、行事ごとの写真を掲示している	職員は、楽しみごとの工夫を、夫々で行なっている。ボランティアによる楽しみの提供を考慮している	
53		<p>○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	椅子、畳スペース、ソファ等設置を行い、そのように過ごせたらと努力している		
54	20	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている</p>	使い慣れた家具の持ち込みは、ほとんどない。が、写真、家族からの手紙などの掲示を行い、快適に過ごせるよう努力している	ご家族と相談し、季節により必要な衣類等を準備し、居心地の良い暮らしへの心くばりに努めている	
55		<p>○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	身体機能の低下に伴い手すりの増設、車椅子用洗面台への取替え等行っている。歩行が不安定な方の居室には、転倒に備え、柱にはクッション材を貼っている。		

V アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ① 毎日ある <input type="radio"/> ② 数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③ たまにある <input type="radio"/> ④ ほとんどない
58	利用者は一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ② 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
64	通いの場やグループホームに、馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ① ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ② 数日に1回程度 <input type="radio"/> ③ たまに <input type="radio"/> ④ ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ① 大いに増えている <input type="radio"/> ② 少しずつ増えている <input type="radio"/> ③ あまり増えていない <input type="radio"/> ④ 全くない
66	職員は生き活きと働けている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに、おおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族が <input type="radio"/> ② 家族の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない